

学科試験問題（2015年6月～2015年8月開催審査会場）

I.初段

- (1)「打突部位」を書きなさい。
- (2)「基本の大切さ」について述べなさい。
- (3)「素振りの種類」を4つ書きなさい。
- (4)「しかけていく技の種類」を3つ以上書きなさい。
- (5)「気剣体一致」について説明しなさい。

2.二・三段

- (1)「有功打突の条件」について説明しなさい。
- (2)「切り返しの目的」を述べなさい。
- (3)「正しい鍔ぜり合いと注意点」を説明しなさい。
- (4)「出ばな技」について説明し、主な技を書きなさい。
- (5)「掛り稽古で元立ちが気をつけること」を述べなさい。

3.四・五段

- (1)「指導者としての心構え」について述べなさい。
- (2)「下位者と稽古をするときの留意点」について述べなさい。
- (3)「体当たり」について説明し、「指導上の留意点」を述べなさい。
- (4)「間合」について説明しなさい。
- (5)「引き立て稽古」について説明し、「元立ちが留意すべきこと」を述べなさい。

剣道学科試験問題（2015年6月～2015年8月開催試験会場）

【 回 答 例 】

初段

- (1) 「打突部位」を書きなさい。
 - ① 面部は正面および左右面
 - ② 小手部は右小手および左小手
 - ③ 胴部は右胴および左胴
 - ④ 突きは突き垂

- (2) 「基本の大切さ」について述べなさい。

剣道でも上達するためには基本が大切である。
基本をしっかり身に着けると、技術に無駄がなくなり、効率的（少ない労力で多くの効果が上がる）で正確な技術が身につくようになる。

- (3) 「素振りの種類」を4つ書きなさい。
 - ① 上下振り
 - ② 斜め振り
 - ③ 空間打突
 - ④ 跳躍素振り

- (4) 「しかけていく技の種類」を3つ以上書きなさい。
 - ① 一本打ちの技
 - ② 払い技
 - ③ 二・三段の技
 - ④ 出ばな技
 - ⑤ 引き技

- (5) 「気剣体一致」について説明しなさい。

気とは気力、剣とは竹刀操作、体とは体さばきと体勢のことである。
これらが打突時に、一体となって働くことで有効打突になる。

剣道学科試験問題（2015年6月～2015年8月開催試験会場）

二段・三段

【 回 答 例 】

- (1) 「有効打突の条件」について説明しなさい。
有効打突とは、充実した氣勢、適正な姿勢をもって、竹刀の打突部で打突部位を刃筋正しく打突し、残心あるものをいう。
- (2) 「切り返しの目的」を述べなさい。
切り返しは、正面打ちと連続左右面を組み合わせ、基本動作を総合的に練習するためのものである。
切り返しのなかで、姿勢と構え、打ちの刃筋や手の内の作用、足さばき、間合いのとり方、呼吸法、さらに強靱な体力や旺盛な気力を養い、気剣体一致の打突の修練を目的とする。
- (3) 「正しい鍔ぜり合いと注意点」を説明しなさい。
自分の竹刀を少し右斜めにして手元をさげ、下腹に力を入れて自分の体の中心を確実に保つようにする。
注意点 ①手元をさげ、下腹に力を入れて腰を十分伸ばす。
②首をまっすぐに保ち、体が前傾しないようにする。
③お互いの鍔と鍔が競り合うようにする。
④相手の肩に竹刀をかけたりにしない。
⑤積極的に技を出すか、分かれるようにする。
- (4) 「出ばな技」について説明し、主な技を書きなさい。
相手が攻め込もうとしたり、打突しようとする動作の起こりのはなを打突する技である。
主な技 ①出ばな面
②出ばな小手
③出ばな突き
- (5) 「掛かり稽古で元立ちが気をつけること」を述べなさい。
①間合いや打突の機会に注意する。
②常に合気となり、掛かる者の気力が萎えたような時は発奮させる。
③掛かる者が居ついたり、気剣体一致の打突がみられなくなったら、間合いに配慮し、いなしたり、応じたり、出ばなを打つなどの工夫をする。